

深川@大同病院です。

標題のイベントに参加してきました。

https://www.chunichi-culture.com/programs/program_206037.html

https://www.chunichi-culture.com/upload_image/3005/136683.pdf

内容はタイトルそのまま、わずか一日で、木の板と棒からヴァイオリンを製作し、しかも、1, 2曲弾けるようになって、ラストは参加者全員でアンサンブル演奏という、信じられないような企画です。でも、本当にこれが実現できてしまう、もう、驚きのセミナーでした。参加者の大半は、ヴァイオリンも木工もはじめて、楽器なんて触ったこともない方ばかりでした。

ヴァイオリンの木のパーツは、初めての方でも十分、木工を楽しみながら、確実・正確に楽器を完成できるよう、極めて巧妙に準備されています。そのため、午前中、二時間程度で、全員、ヴァイオリンの形を完成させることができました。誰でも制作できるよう、簡略化されているとは言え、構造的には本物のヴァイオリそのもの。通販によくある”ヴァイオリンの形をした玩具”ではなく、これは本物です。午後はヴァイオリに弦を張り調律して弾けるようにして完成。弓はすでに組み立てられたものが配布されました。身近な素材で実に巧みに弓を実現しています。

ここからが、このセミナーの本領です。非常に明快かつ論理的な説明と指導により、初めての方でも本当にヴァイオリンが弾けてしまうのです!!!

僅かな練習時間のあと、CD の伴奏に合わせて(!)、全員できらきら星など二曲ほど演奏してお開きになりました。参加者全員、大満足の日でした。皆さん、本当に楽しそうに製作し、また、演奏していらっしゃいました。

このセミナーはヴァイオリン制作教室ではありません。そうではなく、始めるには敷居の高いヴァイオリン、実は手軽に作れてしまって、気軽に弾いて遊べる遊び道具であることを周知し、その普及を目的とした活動だと思います。「ヴァイオリンは、将棋の駒やけん玉などと同じ木のおもちゃ、自分で作って弾いて遊んじゃおう」と先生はおっしゃいます。

参加してみて、”自作した楽器を弾いて楽しむ”、これはとてもクリエイティブな活動だと感じました。工作そのものが創作活動として楽しいし、また、音が出せる、簡単に音階が作れる(押さえる指一本分が半音というだけ)、音階ができれば曲が弾ける。一曲弾ければもう一曲と欲が出る。もっとこうしたい、これはどうしたら良いか、好奇心がわき意欲が高まる。

わたしの患者さんたちでも、生き物の飼育をしている方は皆元気になる印象があります。ペットのお世話やベランダ菜園での土いじり、いずれも意欲が高まるようです。一方で、日がな一日やることがない、youtube の動画を見て過ごす。だんだん衰えてくる。そんな方も少なくない。

やはり日常生活の中にクリエイティブな活動を取り入れることは脳の活動性を向上させるリハビリテーションの一つではないかと考え、ご紹介いたしました。音楽療法にも使えるかもしれませんね。

このイベントを企画・指導された加藤正行先生は、「子供一人にヴァイオリン 1 本」をモットーに普及啓発活動を 20 年に渡って続けられているとのこと。実際にお話をしてみても、その情熱に大きな感銘を受けたことも、今回、ご紹介した動機です。

愛知県内では主に中日文化センターで開講されているようです。ご興味のある方は参加されてはいかがでしょうか(次回は 26/01/11 らしい)。

なお 10 名以上集まれば、先生が出張してくださるとの記載がウェブにあります。

加藤正行先生

<https://gakkinomori.jimdofree.com/>

以上、ご参考まで。